

みずほCustomer Desk Report 2020/07/27号(As of 2020/07/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	106.84	1.1595	123.87	1.2730	0.7099
SYD-NY High	106.87	1.1658	123.92	1.2803	0.7159
SYD-NY Low	105.68	1.1582	122.85	1.2717	0.7064
NY 5:00 PM	106.14	1.1655	123.70	1.2795	0.7106
NY DOW	26,469.89	▲ 182.44	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,363.18	▲ 98.24	日本10年債	-	-
S&P	3,215.63	▲ 20.03	米国2年債	0.148	▲ 0.39bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.273	0.49bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.586	0.98bp
シカゴ日経先物	22,355.00	▲ 205.00	独10年債	-0.4465	3.70bp
ロンドンFT	6,123.82	▲ 87.62	英10年債	0.1430	2.10bp
DAX	12,838.06	▲ 265.33	豪10年債	0.8670	▲ 1.10bp
ハンセン指数	24,705.33	▲ 557.67	USDJPY 1M Vol	6.68	1.28%
上海総合	3,196.77	▲ 128.34	USDJPY 3M Vol	6.73	0.73%
NY金	1,897.50	7.50	USDJPY 6M Vol	7.60	0.56%
WTI	41.29	0.22	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	143.05	0.11	EURJPY 3M Vol	7.85	0.52%
ドルインデックス	94.44	▲ 0.26	EURJPY 6M Vol	8.26	0.36%

東京	アジア時間のドル円は106.84レベルでオープン。東京市場休場で薄商いの中、前日からのドル売りの流れを引き継ぎ朝方106.50付近まで下落。その後も、中国政府が報復措置として米国に四川省成都の総領事館閉鎖を要求するなど、米中関係悪化懸念が重石となりじり安の展開。上海総合指数は3%超の下落となり、米株先物もマイナス圏に沈むなどリスク回避の動きが先行する中、ドル円は106.37まで安値を切り下げ、その後106.41レベルで海外時間へ渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.41レベルでオープンし、アジア間の流れを引き継ぎ、下落。106.20まで下値を切り下げると買戻しが入り、一時106.43円まで戻したが、すぐ反落し、106.22レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2745レベルでオープン。午前中は買と売りが交錯し方向感なく推移したが、午後に金やユーロ等の買いが優勢となると、ドル安を受けてポンドドルは1.2756まで上値を伸ばし、1.2754レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は106円台後半でスタートし、米中関係悪化が警戒されアジア株の軟調に推移する中、円買いが加速し106.50近辺まで急落。その後、中国が米国に対して四川省成都の総領事館を閉鎖するよう要求したことが伝わり、リスクオフの円買いが先行する中、106.18まで下げ、106.22レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、米株先物とともにじり下り。106円を割り込むとストップロスの巻き込みながら105.78をつける。その後、買い戻される場面もあったが、9時45分に発表されていた米7月PMIが予想を下回ったことや、「米当局が在サンフランシスコ領事館の中国人研究者を拘束した」とのヘッドラインが伝わったことが重しとなり、上値の重い推移が続く。午後は3月16日以来の安値となる105.68をつける場面もあったが、米株の下げ止まったことからこの水準で下げ止まる。その後、トランプ米大統領の「日本は自動車で、何年も米国の利益を奪ってきた」との発言が伝わるも、市場の反応は限定的。終盤を週末を前に利益確定の買いが入り106.16まで反発し、結局、106.14レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、アジア株や欧州株の軟調推移を受けて下落するユーロ円に圧迫され、1.1600を割り込む場面もあったが、フランス、ドイツ、ユーロ圏の7月PMIが軒並み予想を上回ったことがサポート材料となった結果、1.1600を挟んだレンジでもみ合い、1.1602レベルでNYオープン。朝方は前日高値(1.1627)付近まで上昇するが、その後、1.1598まで反落。しかし、米国は中国との対立や、一部地域での感染第2波等の懸念材料が多い中、ドル買いユーロ売りは長続きせず、再びユーロ買いが強まる。ユーロ圏の景気回復への期待感も強い中、前日高値を上抜けると1.1649まで上昇。終盤も上値追いの流れが止まらず、1.1658まで高値を更新し、1.1655レベルでクローズ。

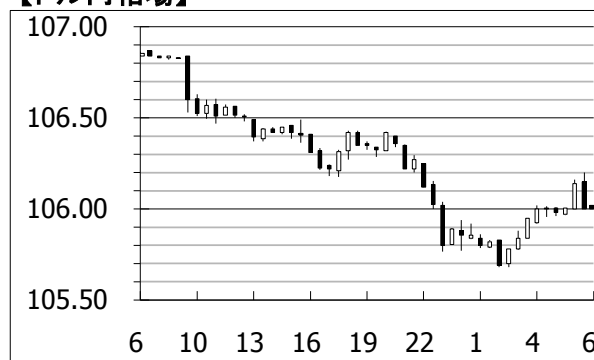
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月24日	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	6月 13.5%/1.7%	7.9%/-3.7%
	17:30	英 マークイットサービス業PMI・速報	7月 56.6	51.5
	17:30	英 マークイットコンポジットPMI・速報	7月 57.1	51.7
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	7月 51.3	52
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	7月 49.6	51
	22:45	米 マークイットコンポジットPMI・速報	7月 50	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 776k	700k

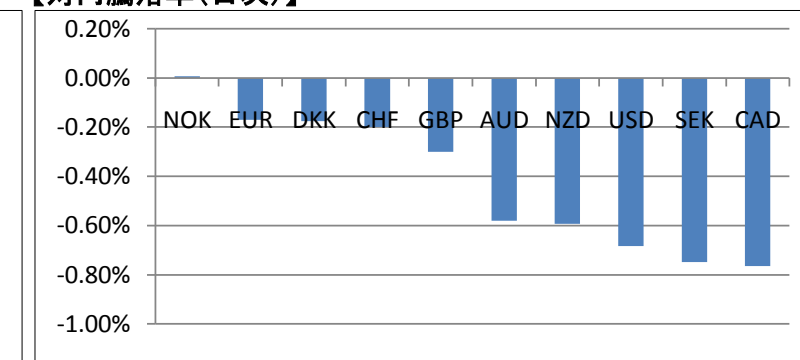
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月27日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	14:00	日 景気一致指数・確報	5月 -	74.6
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	6月 7.0%	15.7%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	6月 3.5%	3.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル円相場について】

7月24日の海外時間のドル/円は下落基調。新型コロナウイルスの感染者増加・米中貿易の緊張懸念を背景に、リスク選好の動きが後退する中、広範なドル売り円買いが目立ち、一時約4ヶ月ぶりの安値となる105.68円をつける。その後徐々に買いが入り106.14円でクローズ。本日のドル/円相場は、106.00円を挟んでの値動きを予想する。ワクチンの開発等、リスク選好の動きが進むインパクトのある取引材料がない限り、上値が重い状況が継続すると思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14